

外来診察

脳と心のドック

予約制

認知症・うつ病の鑑別診断

アルツハイマー型認知症・血管性認知症・うつ病・双極性障害・統合失調症など

外来診察のひとつとして鑑別診断を行います。
保険適用

物忘れの原因は、けして認知症のみとは限りません。

- 最近、ものをよく忘れるようになり「私は呆けているのではないか」と感じる高齢者ご本人やご家族の方。それは認知症（呆け）かも知れませんが、実はうつ病でも似た状態が現れます。
- うつ病などは殆どの場合お薬で改善できます。その鑑別を行うのがこのドックの主たる目的です。当院では同様の症例を数多く経験しております。

078-942-1021 明石土山病院「脳と心のドック」受付まで
平日 午前9:00～午後4:00（土曜 11:30まで）

診察費用 ※検査料・診察費を含む
初診の方の窓口負担金の例

1割負担 75歳以降

約 2,450 円

2割負担 70～74歳

約 4,900 円

3割負担 6～69歳

約 7,300 円

※窓口での自己負担額は所得など条件により異なります。ご自身の医療保険の負担枠をご確認下さい。

3種類の検査

☑ **光トポグラフィ検査** ※この検査での費用は頂きません

脳の動きを目で見える形でグラフ化し、うつ病や認知症等に現れる特有の波形を見ます。
測定する装置のついた帽子を被って行動した際の、脳内の血流を測定します。髪や頭皮に手を加えたり、また測定中に痛みを伴うような検査ではございません。

光トポグラフィ装置 ▶



☑ **MR I 検査**

磁気を利用して頭部の断面図を撮影し、脳の腫瘍・萎縮などを画像から確認します。
エックス線を利用するレントゲンと異なり磁気を利用します。放射線被曝の心配もなく、より身体に負担も少なく済みます。開放型ですので圧迫感がなく、閉鎖空間が苦手な方でも検査して頂けます。

MR I 装置 ▶



☑ **心理テスト**

臨床心理士によるテストを行います。
機器だけではなく、医師による診察時以外での検査にも実際に臨床心理士が向かい合います。

※外来診察時に検査を行います。検査の結果につきましては後日郵送にてご送付させて頂きます。
※診察の内容により、必要がないと医師が判断した検査は行わない場合がございます。



医療法人社団 正仁会

明石土山病院
介護老人保健施設希望
つちやま訪問看護ステーション
宿泊型自立訓練事業所みどり寮
共同生活援助事業所グループホームノア

基本理念

『人間愛に満ちた医療と』

愛情こもる看護・介護』

〒974-0074
兵庫県明石市魚住町清水2744-30
TEL: 078-942-1021
FAX: 078-941-1573
E-Mail: info@athp.jp

ホームページも是非ご覧下さい

● PC・タブレット・スマートフォン
<http://www.athp.jp/>
● 携帯用 (i-mode)
<http://www.athp.jp/i/>



MIDORI*
みどり
季刊誌

令和5年春号

ごあいさつ

理事長・院長 太田 正幸

医療法人社団 正仁会の母体である明石土山病院は昨年創立66周年を迎え、歴史のある病院だと思っております。

我々の仕事は全て患者さんに携わる仕事です。患者さんのことを本当によく考えて下さい。認知症のご高齢の方も含め皆さん病気になりたくてなったわけではありません。その点をしっかり理解して下さい。また、最近虐待の報道が多くされています。治療し、お世話をするのが我々、法人が担う使命です。患者さんたちがおられるから私たちがいるのです。職員の皆さんは決して間違えないで下さい。

新型コロナのクラスターが当院でも発生しました。医師を始め看護師、コメディカルの皆さんのおかげで乗り切ることができました。各部署の上司による的確な指示によるものです。大変な時期を乗り切れたことに感謝致します。

今後とも患者様のために職員一同尽力して参りますので何卒よろしくお願ひ申し上げます。



令和5年度 入職式

令和5年度入職式が4月1日（土）明石土山病院会議室で行われました。新入職員の皆さん入職おめでとうございます。これから、私たちは患者様、入所者様、ご家族のために日々研鑽して参ります。職種はそれぞれ違いますが、目標は一つです。皆さん元気に日常生活へ復帰していただくことです。今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。



看護部 研修会 報告

2023年4月20日（木）行動制限最小化研修会として精神保健福祉法について当院医師の前田先生にご講義いただきました。

精神保健福祉法をとりまく歴史を学び精神保健福祉法を理解することを目標としています。精神保健福祉法は、患者様の人権を守る為、遵守すべきことが定められており、入院形態についてや、行動の制限において多くを学びました。我々は法令を遵守し、人権を

守るという意識を常に持って医療に携わって行きたいと思えます。

また、今後も行動制限の最小化にこれからも取り組んで参りたいと思えます。



精神科デイケア オセロ大会

最近デイケアではオセロがブームになっています。オセロは先読み力、論理的思考、集中力が向上すると言われていた知的なゲームです。また対人関係に緊張がある方も、ゲームを通すことでコミュニケーションが図りやすくなります。そこで2月7日にオセロ大会を実施しました。

普段はリラックスした状態で対局していますが、そこはオセロ大会。真剣勝負の緊迫感が伝わってきます。勝って喜ぶメンバー様、負けた悔しさを次への意欲に変えるメンバー様もおられます。印象的な光景は、どの対局後も勝敗にかかわらずお互いをたたえあう姿でした。大会を通して他者への敬意が感じられました。相手を敬い自身も敬われる経験は、良好な人間関係の構築に役立つと考えられます。人の悩みのほとんどが人間関係と言われております。しかし、人生を豊かにするのも良好な人間関係です。このような経験を積み重ねて（もちろんうまくいかない時もありますが）メンバー様の生活が豊かになればと考えております。

